



地域学校協働活動

● 地域学校協働活動ってなんだろう？

学校と地域の皆さんが力を合わせて学校運営に取り組む「コミュニティ・スクール」と、学校と地域の皆さんが相互にパートナーとして行う「地域学校協働活動」。

この「コミュニティ・スクール」と両輪とも言える「地域学校協働活動」について、生涯学習課でお話を伺いました。



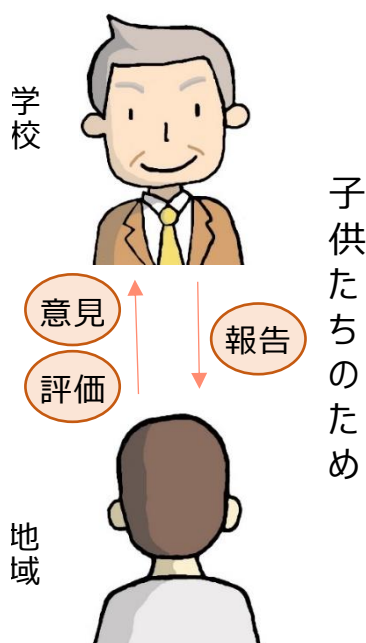
① コミュニティ・スクール 導入

今までと
どう変わるん
ですか？

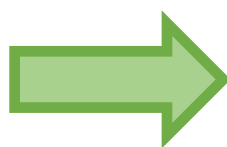


これまで学校関係者評価委員会などで話し合われてきたことを、より幅広いメンバーとともに考え、深めていくことが期待されています。

〈今まで〉



よりいっそう
同じ方向を
向いて



平座で
いっしょに
考えよう

〈これから〉



学校関係者評価委員会など

学校運営協議会

② 願いをカタチ（動き）に

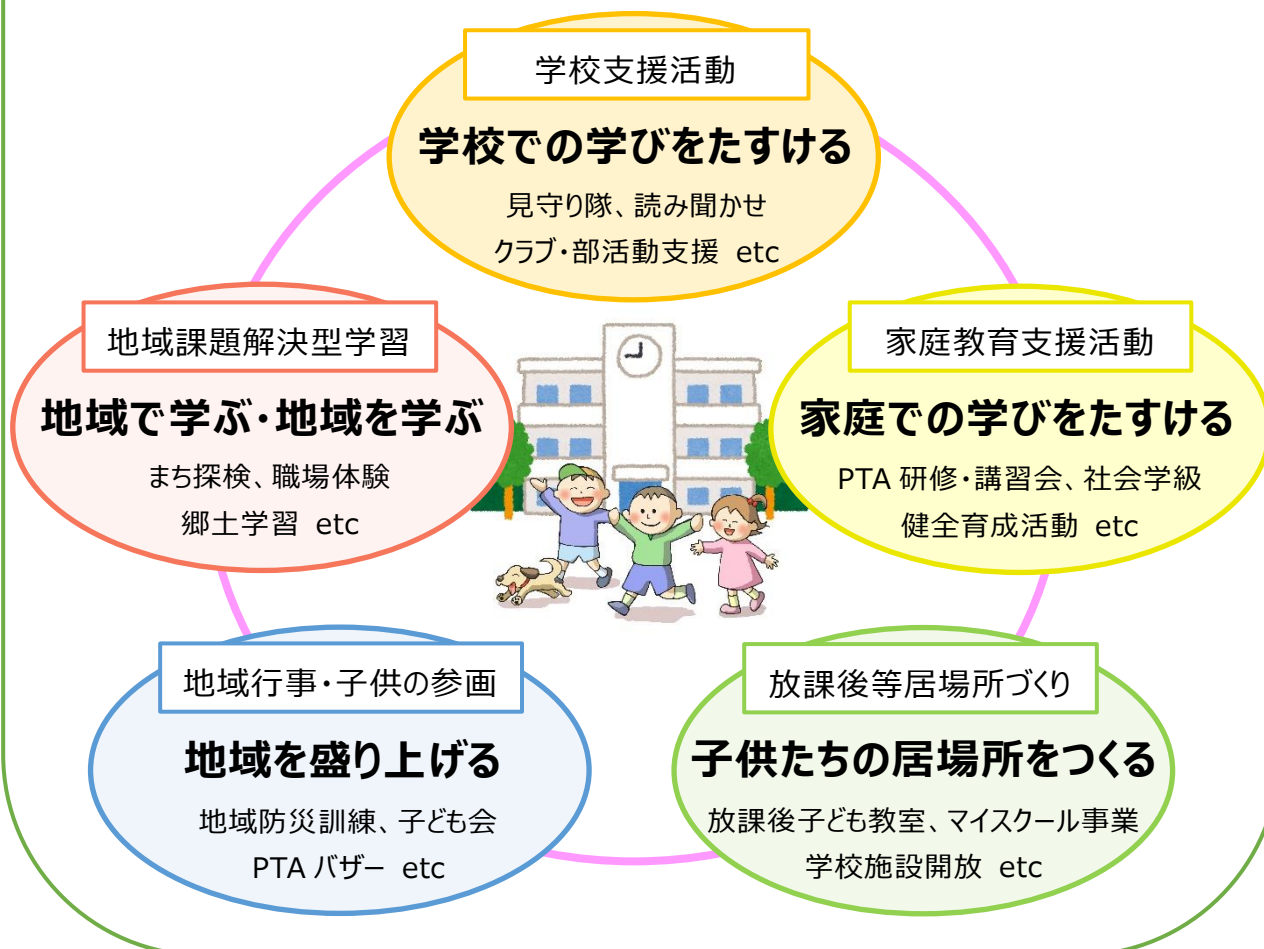


地域学校
協働活動って
なんですか？

地域で様々な活動をされている皆さんとともに「地域全体で子どもたちの学びを支えたい」という願いのもと、『**学びを通じた地域づくり**』を目指して、学校と地域の皆さんが連携・協働して行う様々な活動のことです。

地域学校協働活動 5つのカタチ（動き）

これまで地域で行ってきた活動を、コミュニティ・スクールで話し合った共通の目標に向かってつなげていくために、もう一度見つめなおすことから出発します。



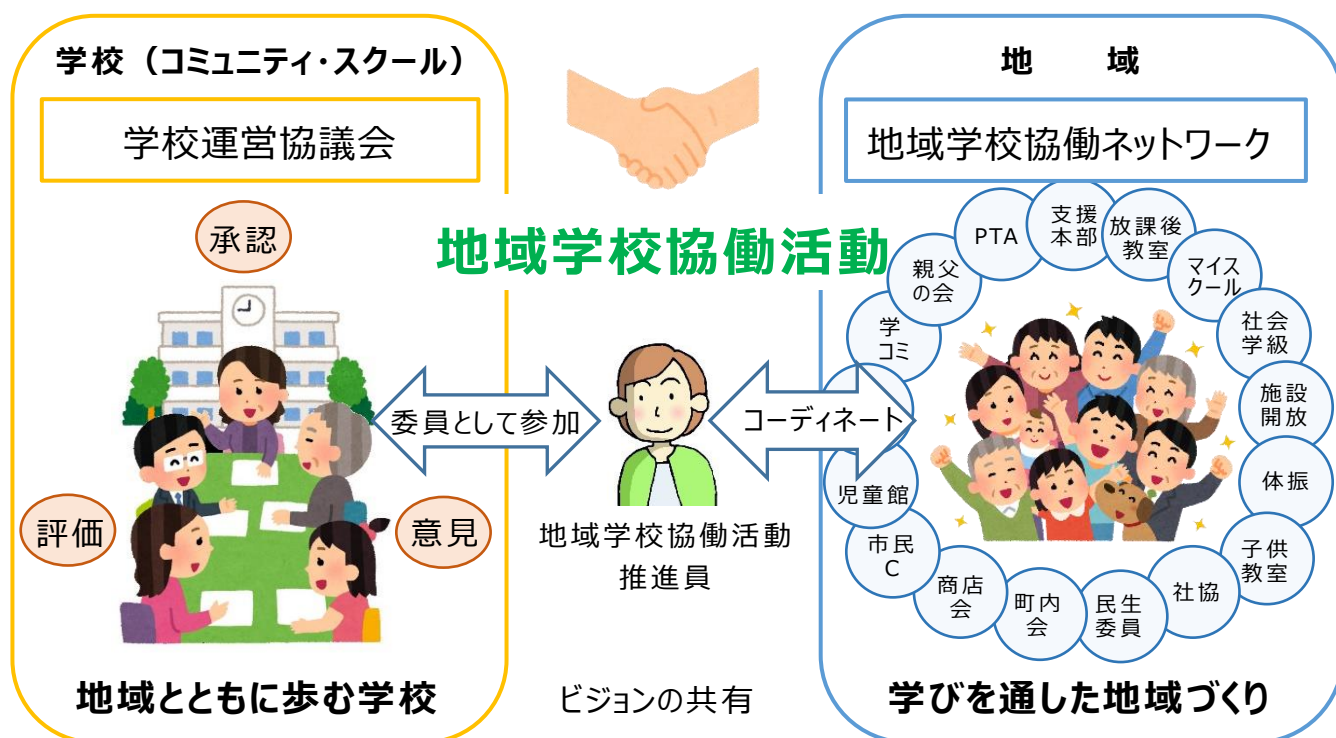
③ あわてず ゆっくり できることからコツコツと

どうやって
やっていけば
いいですか？



コミュニティ・スクールでの協議を
具現化し（願いをカタチに）、実
際に活動していくのが**地域学校
協働活動**です。

仙台市ではすでに設置されている学校支援地域本部の役割を生かし、
支援本部と各種活動団体や活動をつなぐ、ゆるやかなネットワーク（**地域学
校協働ネットワーク**）をつくり、活動をすすめる予定です。



地域学校協働活動推進員って？

学校支援地域本部のスーパーバイザーさんや、放課後子ども教室等のコーディネーターさんが役割を兼ねても OK！

合議体（話し合いの場）であるコミュニティ・スクールと活動体（活動の場）である地域学校協働ネットワークを行き来しながら、コーディネートする役割を担うのが「地域学校協働活動員」です。

この地域学校協働活動推進員は、ネットワークの代表として活動の中心となったり、学校運営協議会に参加したりします。



④ 主語が「私たち」に



誰が考えて
すすめるの
ですか？

仙台市では、これまでの取り組みによって、すでに土台はできあがっていると言えます。

学校運営協議会からの意見を学校だけが担っていくのではなく、「この指、とまれ」でともに活動していくネットワーク（仲間）をつくっていくことが大切です。

学校は
先生が

对学校への意見から
対目標の話し合いに

主語が変わって…



私たちは
私が

「地域で子どもを育てる」
「地域も元気に持続する」

●おわりに

まずは、コミュニティ・スクールで話し合える関係を深めることから始め、あせらず、ゆっくりと、無理のない動きにつながっていくことが願われています。